

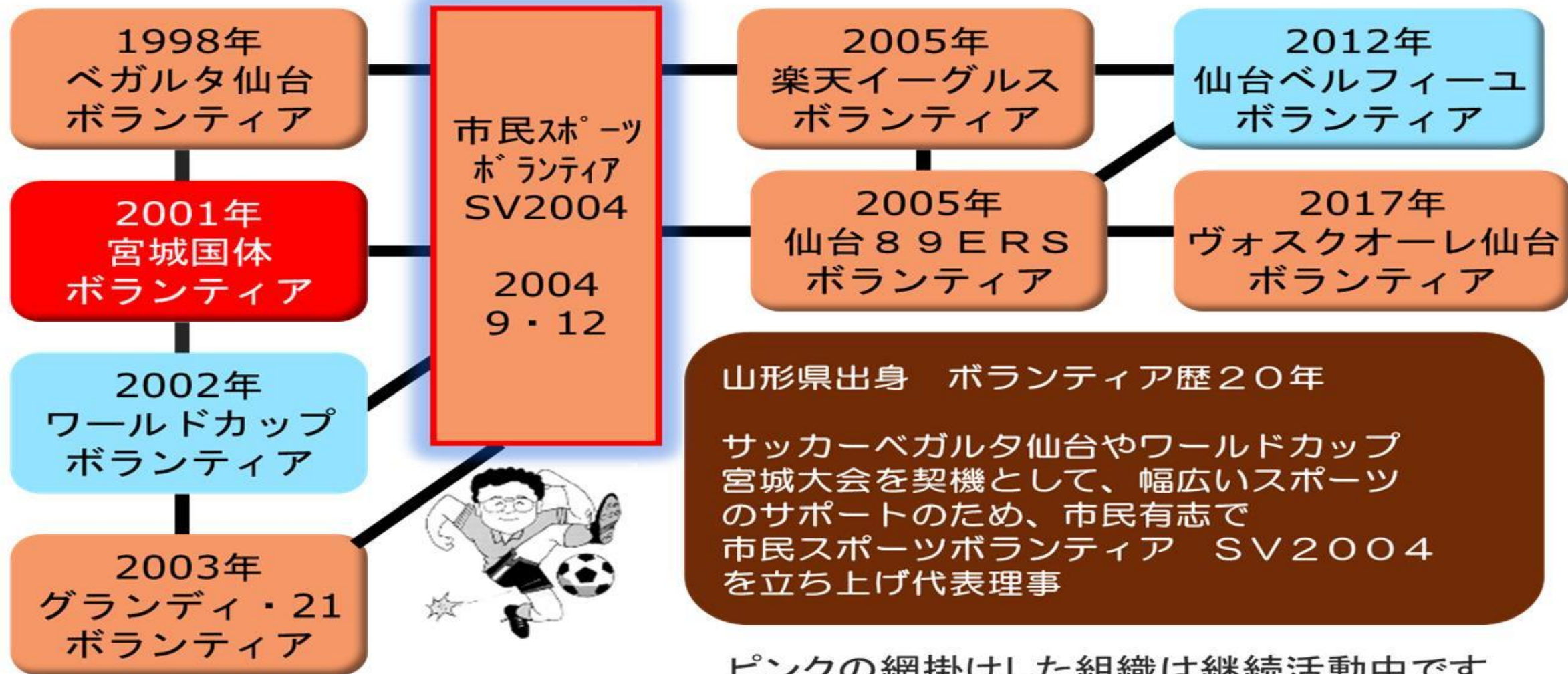


日本の“ボランティア”が変る

いわて・かまいしらグビー応援団 サンクスパーティー

自己紹介と私たちの組織の歴史

スポーツで笑顔を未来へ



私たちと釜石のつながり

2004年 宮城県ラグビーフットボール協会のトップリーグサポート

2005年 SV2004の中にラグビー班発足

(トップリーグのサポートと、ラグビーワールドカップの招致活動)

2010年 最初は釜石シーウェイブスを通じて交流スタート

東日本大震災をはさみ、開催地決定以降は、釜石・ラグビーの大会周知の活動

2019年 ワールドカップボランティアリーダー研修サポート



ラグビーワールドカップを釜石で!!

2015/10/03

第11回東北スポーツボランティアサミット 釜石開催

カンファレンス
8/8 (土) 15:30~17:00

スポーツの力と地域おこし

～メニュー～

- 開会式・ガイダンス
- 事例プレゼン
 - ①アルビレックス新潟 山崎 真 様
 - ②うつくしまスポーツルーターズ 藤原 遼子 様
 - ③トップスポーツソシアム秋田 北澤 孝助 様

会場：釜石市球技場 (旧松倉グラウンド) クラブハウス
〒026-0055 釜石市甲子町10-159-4

フォーラム
8/9 (日) 9:30~11:00

RWC2019 釜石開催に期すること

～メニュー～

- 地元活動プレゼン
ラグビーカフェ・クレスト社 橋本 雅彦 様
- グループトーク
- グループ代表ディスカッション

会場：宝来館 <http://houraikan.jp/>
〒026-0301 釜石市陸住町20-93-18

主催/ラグビーワールドカップ2019 釜石開催支援連絡会

●事務局(お問合せ先)
釜石市総務企画部ラグビーワールドカップ推進室
〒026-8686 釜石市陸住町3-9-13
TEL:0193-22-6321

ラグビーワールドカップ2019™ 釜石開催を応援しよう!

ラグビーカフェ仙台

2019年ラグビーワールドカップ™ 日本開催。若手県釜石市は開催都市のひとつに選ばれました。仙台からもワールドカップを応援したい!そして日本のラグビーを盛り上げたい!

「ラグビーカフェ釜石」は若手県釜石市にあるラグビー情報の発信拠点です。釜石と仙台の想いが形になって、このたび「ラグビーカフェ仙台」が実現しました。

日時 **9月17日 (土)** 12:30~15:30 (カフェブース)

会場 **ユアテックスタジアム仙台 コンコース**

ラグビートップリーグ NTTコミュニケーションズ VS 近鉄ライナーズ
14:00 Kick Off!!!

☆RWC2019™ パネル展示
☆釜石ラグビーの寄賞やジャージ展示 (新日鐵釜石、釜石シーウェイブス等)
☆ダン・カーターサインボール展示
☆ラグビー体験コーナー
☆トライフォートブースコーナー
☆RWC2019™ パンフレット配布

会場：宝来館 <http://houraikan.jp/>
〒026-0301 釜石市陸住町20-93-18

釜石にはラグビーの力がある!! 会場

JAPAN RUGBY TOP LEAGUE 2017-2018

RUGBY WORLD CUP JAPAN 2019

2019年、日本全国12都市で開催。

ROAD TO 2019
10.10



参考事例 = 2002年サッカーワールドカップでの活動

仙台宮城ワールドカップ
友の会
「キックラブ」2000-2002
市民有志の組織
(行政支援の仕組み)



大会の機運醸成と周知活動

- ・シンポジウム／展示会
- ・勉強会
- ・イタリア関連イベント
- ・開催地同士の連携



大会期間中

- ・ファンゾーン担当
- ・サッカー神社／芝お守り
- ・外国語あいさつ冊子
- ・フィ اسپェイント

自分達で考え、企画し、実行できた「経験と人のつながり」が最大のレガシー

2002年サッカーワールドカップ後の活動

地域のスポーツと「**ささえあう**」文化の普及

= 野球、バスケット、ラグビー、バレーなど幅広く拡大

スポーツをつうじた「**語り・動く**」人のつながり拡大

= 市民団体／行政／大学／スポーツ施設／パラスポーツなど

地域のスポーツを「**未来に向けて**」活発にする組織

= せんだいスポーツコミッション（市民のための事業）



2002年サッカーワールドカップ後の課題 (課題は常にそばにある)



2005年 楽天イーグルス
ボランティアが集まらない！

地元新聞に「試合が出来ない」
という記事を掲載

2008年
ボランティアのスキルアップ

有識者から学ぶ
スポーツリレートーク

2005年 ボランティアの
交流の場を作ろう！

年1回、各県持ち回りの
「東北スポーツボランティア
サミット」を開催

2014年
ボランティアの高齢化

中高生スポーツボランティア
育成講座の開催

2005年
捨てられるゴミが増えた！

エコプロジェクトの誕生
出来る限りリサイクル活用へ

2016年
取り巻く環境の変化

スポーツ団体、市民団体の
交流会(月1回)

2008年
ボランティアが増えない！

入門講座の開催
「ボランティア・マッチング」

2019年
ボランティアの安定化

せんだいスポーツボランティア
ステーションの発足

これからに向けて



いつでも戻ってこられる場、仕組み（釜石だから帰りたい、立ち寄りしたい）

生まれた「人」のつながりと「経験」を活かす場、仕組み

まち、地域の人が自由に話し合える場

スポーツ（ラグビー）と、地域課題がつながる仕組み

皆さまへのメッセージ

本日のトークセッションのテーマ

日本の“ボランティア”が変わる

これまで

ボランティアは、「ささえる」存在
それは、恋愛でいえば「片思い」

これから

ボランティアは、「ささえあう」存在
それは、恋愛でいえば「相思相愛」
互に感謝し合える関係を楽しみながら
創りましょう

日本の“ボランティア”を 釜石から変える

